

【価格対策課業務】

肉用牛経営及び養豚経営の価格差補てん事業の支援を通じ、畜産経営の安定を図るとともに、畜産経営の振興のため生産基盤の強化拡大に資する各種事業を実施した。

1) 補助・助成事業

(1) 独立行政法人農畜産業振興機構補助事業

① 肉用子牛生産者補給金制度

契約肉用子牛1頭当りに必要な生産者積立金を生産者の負担金と県、国の助成により造成し、四半期毎の平均売買価格が肉用子牛の再生産を確保することを旨として設定された「保証基準価格」を下回った場合に生産者補給金を交付する事業を実施した。

肉用子牛については、各品種ともに価格の上昇が続いており補給金の発動はなかった。

a) 生産者補給金交付契約締結状況 (単位:戸)

契約区分	契 約 者 数				
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
個 人	26	27	27	21	25
農事組合法人	5	5	5	5	4
株 式 会 社	2	2	2	3	5
合 名 ・ 合 資	-	-	-	1	-
有 限 会 社	-	-	-	1	3
合 計	33	34	34	31	37

b) 事務委託契約締結状況 (単位:件)

委託先区分	委 託 契 約 数				
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総 合 農 協	9	8	8	9	9
専 門 農 協	2	2	2	0	0
農 協 連	2	2	2	2	2
そ の 他	1	1	1	1	1
合 計	14	13	13	12	12

c) 契約肉用子牛個体登録頭数 (単位:頭)

品 種 区 分 期 間 区 分	黒毛和種	その他の 肉専用種	乳 用 種	交 雑 種	計
	平成28年 1月～3月	369	0	15	406
平成28年 4月～6月	297	0	7	440	744
平成28年 7月～9月	323	0	21	436	780
平成28年10月～12月	327	0	14	405	746
合 計	1,316	0	57	1,687	3,060

d) 保証基準価格と合理化目標価格

(単位：円)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格	備考
黒毛和種	337,000	280,000	
その他の肉専用種	220,000	149,000	
乳用種	133,000	90,000	
交雑種	205,000	147,000	

e) 肉用子牛平均売買価格

(単位：円)

品種区分 期間区分	黒毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種
平成28年 1月～3月	768,500	478,200	239,300	392,200
平成28年 4月～6月	797,900	508,100	229,300	387,800
平成28年 7月～9月	812,100	389,600	216,700	401,200
平成28年10月～12月	849,200	372,500	208,600	417,900

f) 契約肉用子牛1頭当り生産者負担金

(単位：円)

品種区分	生産者積立金	
黒毛和種	平成28年1～12月	300
その他の肉専用種	平成28年1～12月	3,100
乳用種	平成28年1～12月	1,600
交雑種	平成28年1～12月	600

g) 生産者積立金造成内訳 (平成28年1月～12月)

(単位：頭、円)

品種区分	個体 登録 頭数	1頭当 り積立 金単価	生産者 積立金 造成額	生産者積立金の負担区分		
				機 構 (1/2)	三重県 (1/4)	生産者 (1/4)
黒毛和種	1,316	1,200	1,579,200	789,600	394,800	394,800
その他の 肉専用種	0	12,400	0	0	0	0
乳用種	57	6,400	364,800	182,400	91,200	91,200
交雑種	1,687	2,400	4,048,800	2,024,400	1,012,200	1,012,200
合 計	3,060	—	5,992,800	2,996,400	1,498,200	1,498,200

h) 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況

(単位：円)

区 分		保証基準価格の品種区分	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合 計		
(1) 期首残高	①	生産者積立金	2,151,600	0	852,200	5,883,200	8,887,000		
	②	生産者積立準備金	—	—	—	—	95,140,560		
	内 訳	③	生産者の負担金充当分	—	—	—	—	9,138,202	
		④	都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	86,002,358	
		⑤	機構の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	0	
(2) 生産者積立金積立実績	⑥	生産者積立金純増加額 (⑨+⑫+⑮+⑱)	881,700	0	272,000	3,000,600	4,154,300		
	⑦	生産者積立準備金からの繰入額(⑩+⑬+⑯)	697,500	0	92,800	1,048,200	1,838,500		
	⑧	計	1,579,200	0	364,800	4,048,800	5,992,800		
	内 訳	生産者	⑨	負担金	92,100	0	89,600	976,200	1,157,900
			⑩	生産者積立準備金(③からの繰入額)	302,700	0	1,600	36,000	340,300
			⑪	小計	394,800	0	91,200	1,012,200	1,498,200
	内 訳	都道府県	⑫	生産者積立助成金	—	—	—	—	—
			⑬	生産者積立準備金(④からの繰入額)	394,800	0	91,200	1,012,200	1,498,200
			⑭	小計	394,800	0	91,200	1,012,200	1,498,200
	内 訳	機 構	⑮	生産者積立助成金	789,600	0	182,400	2,024,400	2,996,400
			⑯	生産者積立準備金(⑤からの繰入額)	—	—	—	—	—
			⑰	小計	789,600	0	182,400	2,024,400	2,996,400
	内 訳	そ の 他	⑱	生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産	—	—	—	—	—
	(3) 他の資金からの繰入状況等	⑲	特別の積立金から生産者積立金へ繰入れた金額	—	—	—	—	—	
		⑳	調整積立金から生産者積立金へ繰入れた金額	—	—	—	—	—	
㉑		生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額	—	—	—	—	—		
㉒		生産者積立金に係る運用果実	—	—	—	—	—		
㉓		他資金から生産者積立金への繰入額	—	—	—	—	—		
㉔		生産者補給金交付額(㉑を含む)	0	0	0	0	0		
㉕		生産者積立金からの借入金返済額	—	—	—	—	—		
㉖		他の資金からの繰入による借入金返済額	—	—	—	—	—		
㉗		生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額	0	0	0	0	0		
㉘		生産者積立準備金に係る運用果実	—	—	—	—	—		
㉙		生産者積立準備金から償還円滑化積立金への繰入額	—	—	—	—	—		
㉚		生産者積立準備金からの返還額(生産者分)	—	—	—	—	0		
(4) 期末残高	⑳	生産者積立金 (①+⑧+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓-㉔-㉕-㉖-㉗)	3,730,800	0	1,217,000	9,932,000	14,879,800		
	㉛	生産者積立準備金 (②-⑦+㉗+㉘-㉙-㉚-㉛)	—	—	—	—	93,302,060		
	内 訳	㉜	生産者の負担金充当分	—	—	—	—	8,797,902	
		㉝	都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	84,504,158	
		㉞	機構の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	0	

i) 特別の積立金造成状況

(単位：円)

品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	計
期首残高		—	2,032,455	14,582,995	29,534,762	46,150,212
増 加	積立金	—	—	—	—	—
	運用益	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—
減 少	積立金へ繰入	—	—	—	—	—
	償還円滑化積立金へ繰入	—	—	—	—	—
	普通財産へ繰入	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—
期末残高		—	2,032,455	14,582,995	29,534,762	46,150,212

j) 償還円滑化積立金の造成状況

(単位：円)

品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計
期首償還円滑化積立金の残高		2,568,938	1,086,029	426,154	200,201	4,281,322
償還円滑化積立金造成実績	機 構	—	—	—	—	—
	三 重 県	—	—	—	—	—
	生 産 者 (生産者積立準備金より繰入)	—	—	—	—	—
	合 計	—	—	—	—	—
運用益		545	231	90	43	909
生産者積立金へ繰入		0	0	0	0	0
期末償還円滑化積立金の残高		2,569,483	1,086,260	426,244	200,244	4,282,231

k) 生産者補給金交付状況
(交付金部分+積立金部分)

(単位：円、頭、人)

期間区分			品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計	
平成27年度	第4四半期	平成28年 1月1日 ～ 3月31日	①交付対象頭数	販売	156	0	10	381	547	
				保留	169	0	10	13	192	
				合計	325	0	20	394	739	
			②生産者補給金単価	補給交付金	0	0	0	0		
				積立金	0	0	0	0		
				小計	0	0	0	0		
	③生産者補給金交付額(①×②)	補給交付金	0	0	0	0	0			
		積立金	0	0	0	0	0			
		小計	0	0	0	0	0			
	交付対象生産者数				0	0	0	0	0	
	平成28年度	第1四半期	平成28年 4月1日 ～ 6月30日	①交付対象頭数	販売	128	0	0	409	537
					保留	181	0	3	13	197
合計					309	0	3	422	734	
②生産者補給金単価				補給交付金	0	0	0	0		
				積立金	0	0	0	0		
				小計	0	0	0	0		
③生産者補給金交付額(①×②)		補給交付金	0	0	0	0	0			
		積立金	0	0	0	0	0			
		小計	0	0	0	0	0			
交付対象生産者数				0	0	0	0	0		
第2四半期		平成28年 7月1日 ～ 9月30日	①交付対象頭数	販売	193	0	0	401	594	
				保留	175	0	15	17	207	
				合計	368	0	15	418	801	
			②生産者補給金単価	補給交付金	0	0	0	0		
				積立金	0	0	0	0		
				小計	0	0	0	0		
③生産者補給金交付額(①×②)		補給交付金	0	0	0	0	0			
		積立金	0	0	0	0	0			
		小計	0	0	0	0	0			
交付対象生産者数				0	0	0	0	0		
第3四半期		平成28年 10月1日 ～ 12月31日	①交付対象頭数	販売	130	0	15	416	561	
				保留	153	0	0	13	166	
				合計	283	0	15	429	727	
			②生産者補給金単価	補給交付金	0	0	0	0		
	積立金			0	0	0	0			
	小計			0	0	0	0			
③生産者補給金交付額(①×②)	補給交付金	0	0	0	0	0				
	積立金	0	0	0	0	0				
	小計	0	0	0	0	0				
交付対象生産者数				0	0	0	0	0		
合計			①交付対象頭数	販売	607	0	25	1,607	2,239	
				保留	678	0	28	56	762	
				合計	1,285	0	53	1,663	3,001	
			②生産者補給金単価	補給交付金	0	0	0	0		
				積立金	0	0	0	0		
				小計	0	0	0	0		
			③生産者補給金交付額	補給交付金	0	0	0	0	0	
				積立金	0	0	0	0	0	
				小計	0	0	0	0	0	
			交付対象生産者数				0	0	0	0

② 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

a) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

(a) 制度運営適正化推進

補給金制度に係る業務を適正に実施するため、肉用子牛の個体識別及び個体登録、販売・保留の確認、制度推進の啓蒙・指導等円滑な業務推進と新統一電算システムによる機構への業務執行状況の報告を実施した。

(b) 指定協会調査指導

補給金制度の適正な実施体制の確保を図るため、事務委託先及び契約生産者に対する補給金交付契約の内容、手続等、事務の実施状況について定期的な点検、調査、指導を実施した。

b) 指定協会運営体制支援事業

補給金制度の円滑な実施を図るため、指定協会の運営体制を強化するための財政支援を受け、運営基盤の強化を図った。

③ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（平成28年2～3月分交付業務）

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、生産者積立金と機構からの補助金により造成した基金から、粗収益と生産費との差額の8割を補填金として交付することにより、肉用牛肥育経営の安定を図るための事業を実施した。

a) 品種別個体登録頭数

(単位：頭)

品種区分 期間区分	黒毛和種	交雑種	乳用種	計
平成28年1月～3月	2,735	190	38	2,963

b) 契約肥育牛1頭当たり地域基金造成額

(単位：円)

負担区分	肉専用種	交雑種	乳用種
生産者	10,000	25,000	17,000
農畜産業振興機構	30,000	75,000	51,000
合計	40,000	100,000	68,000

c) 地域基金造成額及び補填金交付額

(単位：円、頭)

品種区分	地域基金造成額					肥育牛 補填金
	生産者			機構	合計額	
	単価	頭数	積立金額	補助金額		28年2～3月分
肉専用種	10,000	1,888	18,880,000	56,640,000	75,520,000	0
交雑種	25,000	127	3,175,000	9,525,000	12,700,000	0
乳用種	17,000	30	510,000	1,530,000	2,040,000	476,000
合計	—	2,045	22,565,000	67,695,000	90,260,000	476,000

④ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、生産者積立金と機構からの補助金により造成した基金から、粗収益と生産費との差額の8割を補填金として交付することにより、肉用牛肥育経営の安定を図るための事業を実施した。

なお、本年度は新たな業務対象年間（平成28～30年度）が開始し、補填金の交付については、毎月払いを基本とする概算払方式を実施することで経営支援に努めた。

a) 肥育牛補填金交付契約締結状況 (単位：戸)

契約者数 契約区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
個人	110	110	88
農事組合法人	8	8	8
株式会社	9	14	16
有限会社	11	11	11
合同会社	1	1	0
合計	139	144	123

b) 品種別個体登録頭数 (単位：頭)

品種区分 期間区分	黒毛和種	交雑種	乳用種	計
平成28年4月～6月	2,620	208	29	2,857
平成28年7月～9月	3,301	225	34	3,560
平成28年10月～12月	3,001	179	44	3,224
合計	8,922	612	107	9,641

c) 契約肥育牛1頭当たり地域基金造成額 (単位：円)

負担区分	肉専用種	交雑種	乳用種
生産者	10,000	25,000	26,000
農畜産業振興機構	30,000	75,000	78,000
合計	40,000	100,000	104,000

d) 地域基金造成額及び補填金交付額 (単位：円、頭)

品種区分	地域基金造成額						肥育牛 補填金 28年4月 ～29年1月
	単価	生産者			機構	合計額	
		頭数		積立金額	補助金額		
		再積立	4月～1月				
肉専用種	10,000	5,654	9,230	148,840,000	446,520,000	595,360,000	0
交雑種	25,000	282	670	23,800,000	71,400,000	95,200,000	359,600
乳用種	26,000	41	115	4,056,000	12,168,000	16,224,000	3,211,800
合計	—	5,977	10,015	176,696,000	530,088,000	706,784,000	3,571,400

⑤ 肉用牛繁殖経営支援事業

肉用牛繁殖経営は、子牛出荷までの生産期間が長いこと資本回転率が低く多額の運転資金を必要とし、子牛価格の変動の影響を受けやすいという特徴を有しているため、肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛価格が家族労働費の8割水準を下回った場合に差額の一部を補てんすることにより、繁殖経営の所得を確保し、肉用牛繁殖経営基盤の安定を図るための事業を実施した。

⑥ 肉用牛経営安定対策補完事業

肉用牛生産基盤の強化と経営安定を図るため、地域の中核的担い手が計画的に高能力の繁殖雌牛を増頭した場合に奨励金を交付することにより、自家生産肥育素牛による収益性の向上を目指すと共に肥育経営から一貫経営への移行を牽引して新たな繁殖牛の導入や規模拡大を行う経営に対する支援を実施した。

2) 受託事業

(1) 独立行政法人農畜産業振興機構受託事業

① 養豚経営安定対策事業

養豚経営安定対策事業は、平成26年度をもって一旦事業を終了し、平成27年度から新たな事業対象年が始まった。新規加入者の募集及び事業内容周知のため、県内養豚事業者、養豚関係者等を対象に説明会を開催した。また、事業に関する問合せに対応した。

県内事業参加養豚事業者34名の内、14養豚事業者の事務委託を受けた。

(2) 一般社団法人家畜改良事業団受託事業

① 肉用牛産肉能力平準化促進事業等における調査牛の生産・取得・肥育のための事業

全国的に供用可能な種雄牛を選抜し、精液を安定的に供給するとともに我が国肉用牛の産肉能力の迅速な向上と高位平準化に資することを目的とする事業について、調査牛の生産・取得・肥育に係る調査業務を実施した。

3) その他

(1) 事業推進に必要な調査を実施した。

(2) 関係団体、関係事業との協力を努めた。

4) 平成 28 年度の主な行事

年	月	日	行 事 内 容
28	4	12	肉用牛肥育経営安定特別対策事業全国会議 東京
		14	養豚経営安定対策事業全国会議 東京
		26	肉用牛経営安定対策補完事業全国会議 東京
		27	肉用牛肥育経営安定特別対策事業推進会議
	5	11	養豚経営安定対策事業説明会
		23～24	肉用牛肥育経営安定特別対策事業研修会 東京
	8	25～26	第 1 回家畜改良事業団窓口団体会議
	9	15～16	肉用子牛生産者補給金制度ブロック会議 和歌山
	10	6～7	肉用子牛生産者補給金制度全国協会現地調査
	11	1～2	肉用牛経営安定対策補完事業実務担当者全国会議 東京
	29	2	9
2		15～16	肉用子牛生産者補給金制度経理・業務研修会 東京
3		22	肉用牛経営安定対策補完事業全国会議 東京